

press release

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

2018年9月26日
PRESS-18-22

ノボ ノルディスク ファーマ、郡山市、福島県立医科大学 「郡山市における糖尿病対策に係る研究」の共同研究基本契約を締結 ～日本初の Cities Changing Diabetes(都市に蔓延する糖尿病の克服)プログラムが開始～

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社(社長:オーレ ムルスコウ ベック、本社:東京都千代田区)は、福島県郡山市、福島県立医科大学医学部衛生学・予防医学講座と、郡山市における糖尿病対策についての共同研究基本契約を締結したことをお知らせします。

これは2018年2月13日に締結した「郡山市とノボ ノルディスク ファーマ株式会社との糖尿病対策に関する包括連携協定書」に基づき事業概要を定めるもので、「郡山市」を日本一健康な都市にするという理念の下、お互いの資源を有効活用し、産官学連携による糖尿病対策事業に取り組むものです。本共同研究基本契約により、共同研究の具体的なスケジュールや実施内容が明確になりました。

共同研究では、市民の健康のためには市民の生活の観点からの問題発見が重要であると考え、郡山市特有の糖尿病状況、および健康に及ぼす環境・社会・文化的要因を探求します。具体的には、郡山市が保有する国民健康保険被保険者のデータを用いて、年齢・性別・郡山市行政センターの区域及びそれ以外の区域ごとに、郡山市の糖尿病の状況を整理して仮説の設定を行います。さらに郡山市民を対象にした、糖尿病治療経緯と糖尿病や健康等に関連する生活環境等の各種データを収集し、複合的に解析を行います。解析結果に基づき、ノボ ノルディスク ファーマが持つ糖尿病の知見を基に糖尿病事業企画を考案し、郡山市が実施します。

本共同研究基本契約書の締結による、具体的なスケジュールや実施内容は次の通りです。

共同研究の研究題目:	「郡山市における糖尿病対策に係る研究」
共同研究の期間:	2018年10月から全てのフェーズが終了するまでの期間
共同研究のスケジュール:	フェーズ1 調査設計 フェーズ2 データの整理 フェーズ3 調査実施 フェーズ4 データの解析 フェーズ5 糖尿病対策の提案 フェーズ6 糖尿病対策事業の実施

共同研究の経緯

ノボ ノルディスク 経営原則であるトリプルボトムライン(財務・環境・社会に対する責任)の社会に対する責任の取組の1つに Cities Changing Diabetes(都市に蔓延する糖尿病の克服)というパートナーシッププログラムがあります。近年世界では、都市化によって文化や生活環境に急激な変化が起こり、これらが糖尿病増加の一因となっています。ノボ ノルディスク は、世界15都市(2018年5月現在)において、100を超えるパートナーと共に都市における糖尿病増加のリスクに取り組んでいます。

一方、日本においては超高齢化が糖尿病増加のリスク因子となっており、日本特有の糖尿病増加の要因を踏まえて、郡山市と日本初のパートナーシップ協定を2018年2月に締結しました。郡山市は、1998年に設立されたノボ ノルディスク ファーマの唯一の国内工場があり、20年間良好な関係を築いてきた同市への感謝の気持ちもこめられた地域貢献となります。

Cities Changing Diabetes(都市に蔓延する糖尿病の克服)について

都市における糖尿病増加に取り組むため、本パートナーシッププログラムでは、都市において糖尿病が増加している主要因を理解し、知見を共有し、糖尿病患者さんのケア改善のために行動していくことにより、都市に住む糖尿病患者さんの健康改善を目指しています。現提携中の都市は、北京・コペンハーゲン・杭州・ヒューストン・ヨハネスブルグ・メキシコシティ・ローマ・上海・天津・バンクーバー・廈門などがあります。

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社について

ノボ ノルディスク社は、デンマークに本社を置き、95年以上にわたり糖尿病治療に必要な革新的な医薬品の開発を通じ糖尿病ケアの革新をリードしてきました。糖尿病の克服を目指して培ってきた経験や能力は、肥満、血友病、成長障害といったその他の重篤な慢性疾患の領域にも活かされています。ノボ ノルディスク社は現在79カ国に約4万2,700人の社員を擁し、製品は170カ国以上で販売されています。日本法人は1980年に設立されました。